



「議会活性化の取り組みについて」その5

9月29日にハビネスにて「第3回井戸ばた会議」町民と議会との対話を開催しました。

今回は、初の試みとして午前の部も開催し、第1部は午前10時～午前11時30分で6人の参加、第2部では午後6時30分～午後8時で14人の参加で合わせて20人（前回から3人増）の町民の方々にご参加いただきました。今回も多様なご意見をいただきました、その一部をまとめました。

井戸ばた会議に対しても、継続の声や様々な改

善案が出ましたので、次回以降に反映いたします。



ハコモノ	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減、高齢化の中でハコモノが多いが赤字・維持費が心配だ。 ・補助金頼み、補助金が優先し過ぎる。 ・指定管理について、コスト削減とケチるのは違う。サービスが町民に還元されていない。一部分だけの利益還元となりかねない。 ・町中の整理が必要（グランドデザイン。）
民意の反映	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の指摘を批判と受け取られず、チェックして改善できる仕組みの検討を。 ・インターネットなどで条例案を示す必要があるのではないか。 ・前と同じで審議会が形骸化している。 ・町民懇談会等の会合で事後報告、説明が主で、町民の意見が反映される仕組みになっていない。住民と煮詰める時間が必要だ。
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨被害の事前対応を望む。排水対策で霞堤や遊水池の検討を。 ・防災で自主防災組織があるが、日頃の対策は誰がするのか。対策は行政なのか、公区なのか、役割分担をはっきりしてほしい。
移住	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊の受入は一般職だけでなく、特別職、個人事業主の受入れ制度もあるので、一歩進めていく時期では。 ・移住を決めたときに一番に困ったことは住宅が見つからなかったこと。空き家を活用して安価で供給できるような対策を。
担い手対策	<ul style="list-style-type: none"> ・あけぼの園、山びこ学園、町立病院の求人情報をまとめたホームページがあるが、更新されていない。田舎の魅力を発信できるよう上手にやって欲しい。 ・社会人採用を（富山県氷見市を参考）。面接採用を広報広聴担当課で。 ・タウンプロモーション、労働力不足の解決に努力すべきで、新規事業を起こし雇用を生み出すのは優先順位が逆ではないか。
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の教育で競争意識がない、人数が少なくても良いので2クラスを作るべき（先生の比較、生徒どうしの競争）。 ・ウィークエンドスクールは中学生が部活などで来ない。
健康	<ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命を1才でも長寿化するため、施設機器の充実が必要（ハビネス：マシンの増設、シャワールーム、個人用ロッカーなど）。
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・離農者増に備え単身就農が可能なように取り組んで欲しい。 ・ハウスのビニール掛けを専門的な事業者へ委託する仕組みの検討を。